

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和3年3月31日

事業所名: アバンツアーレスポーツなご

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容または改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	2	1	1		・スペースを広く活用できるよう工夫する
	2	職員の配置数は適切であるか	3	1			・児童の様子によって臨機応変に対応できる人員の確保を目指す
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		1	3		・今後少しずつ手すりの設置など、バリアフリーに関する整備をしていく必要がある
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	2	2			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4				
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4				
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	3			
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	1	3			
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	3	1			
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	2			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	3	1		・児童の様子を指導員間で共有。ケース会議を実施し、支援内容を決定している	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3	1		・長期休暇には季節に合った、普段とは違うプログラムを実施している	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	1	3			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	3	1		・児童の状況に応じて個別活動、集団活動を臨機応変に対応している	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3		1		・支援についてより指導員館でより密な計画を立てる必要がある
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	2	2		・保護者、学校、本人とのやり取りの中で、共有すべき点があれば他指導員に報告する。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4			・日々、実績記録として個別の記録をとり、保存している。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4			・児童の様子や支援の方法について、指導員間で話し合う場を設けている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか		4			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4				
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	2	2		・下校時刻の確認等は主に保護者で行っているが、連絡がない場合も多いので、学校側と情報共有をすることもある。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			4		・現時点では受け入れていないが、今後考えていく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	2	1		・より良い支援のため、情報を得ることができると思う。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1	3			
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	3	1		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	1	2		・現時点ではほほないが、今後どのような活動ができるのか模索していく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	1	3			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	3	1		・連絡帳を通じて様子を伝えあい、送迎の際などに報告等を行っている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	2	1		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	3				
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	2	2		・保護者から相談があった際は、指導員間で情報共有し、支援を考えている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		1	3		

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4			・苦情があった際には、すぐに経緯を説明し、謝罪するよう心掛けている。また、再発防止のために職員間での情報共有を行っている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3	1		・月に一度会報誌を発行している。SNSも行っている。	
	35	個人情報に十分注意しているか	4			・個々の記録の管理や連絡先の管理などに気をつけている。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		1	3		
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	1	2	1		・マニュアルを作成し、職員共有すえう。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	1	3			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3	1			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		4		・どのような状況がやむを得ないのかなどを話し合っ て考える機会をもうけている。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	1	2			・現時点ではアレルギーのある児童はいないが、今後に向けて対応を考える必要がある。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		2	2		・危険を感じた箇所を写真を撮るなどして職員の間で共有する。